

企業名： ツバキ・ナカシマ

レポート名： ESG レポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

近頃もてはやされる SDGs に沿い、環境への負担の少ない、持続可能な社会を目指していることがわかった。しかし、具体的なヴィジョンは伝わってこなかった。標語的に色を変えた横文字が並べられていて、時代の価値観に取り残されていないことはわかったが、どのようにして製品を改善するのか、そもそもサステナビリティやワンチーム精神といったものはどういうものを想定しているのか理解できなかつたので、漠然とした方向性はわかるが、目標は何を達成することなのか、どういったアプローチするのかがまったく説明されていなかった。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

精密ボールを作る技術がこの会社の競争有利性だと理解した。とくにセラミックボールと、医療用機器の部品がこの会社の主力製品のひとつである。それらの売り上げは前年と比べ、大きく成長しており、セラミックの球状加工に関しては世界トップレベルの技術を持っていることがわかった。またこの会社は海外にも工場を持っており、持ち前の技術力で、海外でも他社の代替が難しい地位を築いていると思われる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

短期的な持続性はある。球状に加工する技術は世界最先端であるから、技術力で他社に大きく劣るといえることはしばらくないといえる。しかし、同様の部品の需要に比べて会社の規模はまだ小さいように思える。そのため、他の大型製造業社が参入してきた場合、開発コストや規模の効率性により、技術力だけで対抗するのは難しいと思える。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

思わない。この報告書に書かれている人材開発目標はどれも曖昧で、明確なイメージが湧かない。勇気、誠実さ、インスピレーションなどといわれても人によって多種多様な受け取り方があり得る。正直に言って標語的に述べているだけとしか思えない。社員に求める能力は具体的何か、どういった社内環境を形成していきたいのかもっと具体的に書いてほしい。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

全体的に読みにくかった。その理由として以下のことが挙げられる。十分なスペースがあ

るにもかかわらず、イラストに幅を取り、字が小さくなっていた。字の色と背景色があっておらず、目がチカチカした。ところどころキーワードとなる語句の色を変えているが、ほとんどのところで色が変わっており、結局どこを強調したいのかがわからない。一文が長い。これらが私が読みづらかった理由であろう。読者の目を引くことも重要だが、読みやすく、内容が頭に入ってきてやすいレイアウトにも気を配ってほしい。